

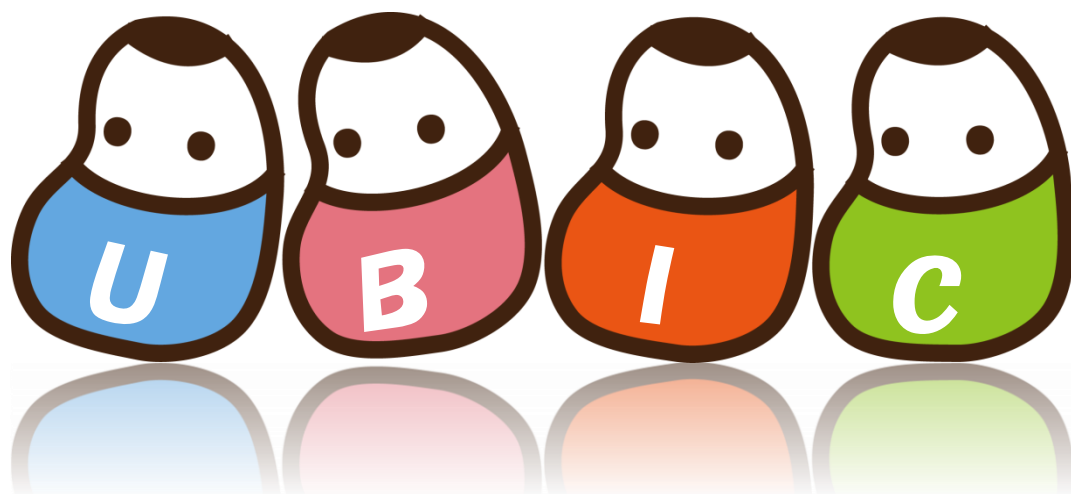
UBIC NEWS







University-Business Innovation Center

会津大学

産学イノベーションセンター

復興創生支援センター



	産学イノベーションセンター(UBIC) ・復興創生支援センター(RACS)について	… P 1 ~ 2
	UBICの取組事例	… P 3
	RACSの取組事例	… P 4 ~ 5
	研究技術の活用	… P 6 ~ 9
	教育活動・起業サポート	… P 10 ~ 11
	UBIC利用案内(リニューアルオープン) UBIC・RACSインフォメーション	… P 12 ~ 15

Jイノベ
J-Innovation HUB

2026年3月発行
UBICニュース

第23号



1. 産学イノベーションセンター(UBIC)

・復興創生支援センター(RACS)について



イノベーションの創出、産業の振興・発展を目指して

会津大学産学イノベーションセンター(略称:UBIC)及び会津大学復興創生支援センター(略称:RACS)は、会津大学と企業や地域が連携して研究を進めていくための産学官連携の拠点です。

地域や企業に開かれた総合窓口として、企業等との共同研究をはじめ、大学の研究や特許の紹介、大学発ベンチャーや起業家の育成、各種セミナー等の開催により、産学官連携を推進しています。

また、企業等の技術相談や経営相談に応じるとともに、企業と大学研究者とのコーディネート活動を行い、産業創出・地域活性化のために活動を進めています。



UBIC・RACSセンター長あいさつ



会津大学は、最先端のコンピュータ理工学の研究・教育に特化した大学です。この特徴を活かし、福島県内外のIT産業はもとより様々の企業の皆様、福島県の市町村や市民の皆様との連携により、産業の活性化、IT人材育成、雇用拡大に力を注いでまいりました。ICTの拠点化による復興支援を目指し2015年に開所した先端ICTラボも会津オープンイノベーション会議(略称AOI会議)、セミナー会場、クラウドなど多くの方々に利用いただいています。イノベーションコースト構想への参画、リカレント教育としてのIT人材育成にも実績をあげております。2024年にはUBIC施設を新たに「ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点」として開所しました。今後もAI、DX、スマートシティ、データ解析、サイバーセキュリティなど産学官連携をさらに強化し、産業の振興、復興支援、さらには新たなイノベーションの創出を展開してまいります。

いわせ じろう

岩瀬 次郎 (会津大学副理事長 兼 産学イノベーションセンター長)

京都大学工学部数理工学科卒、同大学院院修士

日本IBM入社後、米国エール大学大学院留学、Applied Science & School Management修士

日本IBMにおいて、コンピテンシーマネジメント企画管理マネージャやソフトウェアエンジニアリングマネージャ、コンピテンシー&スキル開発マネージャを歴任

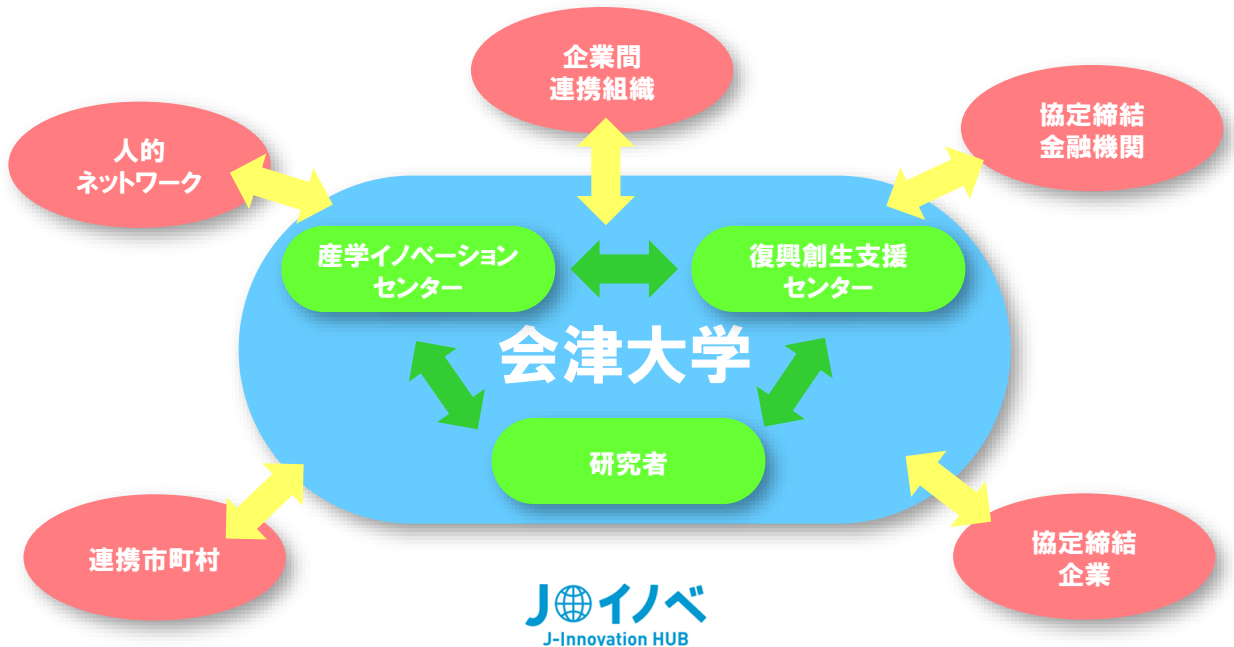
2007年4月 会津大学理事

2010年4月 産学イノベーションセンター長、復興支援センター長

2024年4月 副理事長・副学長

産学官連携の体制

開学初期に創設された産学イノベーションセンター(UBIC)を核とした産学官連携の枠組に加え、2013年には東日本大震災・原子力災害からの復興支援を目的とした会津大学復興支援センターが設立されました。復興支援センターでは、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を目標に、先進的なICT研究や人材育成事業を進めてきましたが、福島県浜通りをはじめとした地域のさらなる復興創生を目指し、2023年に復興創生支援センター(RACS)として新たな活動を開始しました。これまでの両センターの地域を中心とした産学官連携活動が評価され、2020年12月には、経済産業省の「地域オープンイノベーション拠点(地域貢献型)」にも認定されています。



産学イノベーションセンター
UBIC (University-Business Innovation Center)

- 産学官連携の推進
- 共同研究・受託研究等の推進、外部資金の導入
- 企業等からの技術相談や経営相談
- 人材育成、大学発ベンチャーや起業家精神の育成
- 知的財産の管理・活用
- 研究成果の紹介、研究者の技術シーズの情報提供
- 最先端ICT情報を発信する産学連携フォーラムの開催
- ICT関連の各種講習会の開催
- 施設の提供



復興創生支援センター
RACS (Revitalization and Creation Support Center)

- 先端ICT研究の実行
- 革新を生み出す場の提供
- ICT人材の創出
- 会津大学先端ICTラボの運営
- 会津産学官連携クラウドの運営
- 会津産学コンソーシアムによる意見交換
- ICTを活用した福島県復興への寄与
 - ・ 県民の安全・安心の向上
 - ・ 原子力災害からの復興
 - ・ 風評の払拭



2. UBICの取組事例

産学イノベーションセンター(UBIC)では、積極的に地域・産業界との産学官連携活動に取り組み、新産業の創出や地域活性化の促進に貢献しています。

会津産学懇話会との取組

会津産学懇話会は、1993年4月の会津大学開学と相俟つように、1993年12月に会津地区経営者協会有志により設立された大学支援団体です。毎月の定例会をはじめ、会津大学と会津産学懇話会の交流会・先進地視察等により、産学連携と会津地域の産業振興のための事業を展開しています。

定例会

月に一度、朝食をとりながら意見交換会を開催しています。



サマーイブニングパーティ

毎年夏には、教員の家族と産学懇話会会員がパーティを通して交流を深めています。



AOI会議

会津大学では、革新的な技術、ビジネスモデルを生み出すため、大学の研究シーズを主体に1対1の関係で進められる従来型の産学連携から多対多の関係を形成し、ニーズの段階から多様な議論を活性化させ、あるいは新たなニーズを創出するための共創の場として、会津オープンイノベーション会議(AOI会議)を実施しています。





3. RACSの取組事例

復興創生支援センター(RACS)では、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、福島県の復興に貢献するとともに、先進的なICT研究を行い、新たなICT産業と雇用の創出を目指しています。

会津IT秋フォーラム

※会津大学・会津産学コンソーシアム* 主催

会津IT秋フォーラムは、会津大学から福島県内外に最新のITに関する情報発信を行い、会津大学のIT拠点機能の強化を図ることなどを目的として、2007年度から毎年度開催しております。

2015年度以降は、会津大学・会津産学コンソーシアムが主催者となり、2025年度は「AI、DXテクノロジーの進展と地域社会」をテーマとして開催いたしました。

*会津産学コンソーシアム：行政機関、国内外IT関連企業及び会津大学発ベンチャー企業等による、多対多の産学連携の関係を形成し、ニーズの段階から多様な議論、創造を活性化させ、革新的な技術、ビジネスモデルを生み出す、あるいは新たなニーズを創出する方法を確立することを目的とし設立。

AI、DXテクノロジーの進展と地域社会

【開催日：2025年10月31日(金) 現地開催及びYouTubeによるオンライン配信】

【トラック1】

AI×テクノロジー

- セッション1：シミュレーションとAIをつなげて
新しい価値の創出へ
- セッション2：生成AIベンダにおける
AIセキュリティ・ガバナンスの取り組み



【トラック2】

福島浜通りから 宇宙×テクノロジー

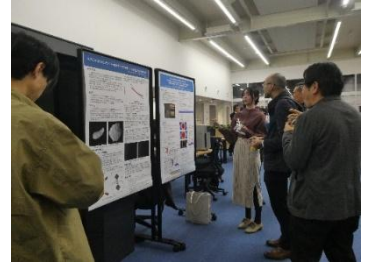
- セッション3：月火星箱庭構想から将来の
月惑星探査へ向けて
- セッション4：宇宙ビジネス創出に向けたAstroXの挑戦
ー 福島・南相馬から世界へ



【セッション5】
会津大学発ベンチャーの取組み



【セッション6】
学生によるポスターセッション



【交流会】

会津大学 誰もが輝けるITキャリアアップ塾

会津大学では、IT人材の育成等を目的として、「会津大学 誰もが輝けるITキャリアアップ塾」を開講しています。

県内ICT企業への就職や起業を目指す方を対象としたe-ラーニングを中心とする講座で、ライフスタイルに応じて好きな時間にオンラインで受講することができます。

それぞれの希望に合わせて、ITの基礎からプログラミングスキルまで、ICT企業への就職や起業に役立つ技能を身につけることができます。

また、福島県情報産業協会及び福島労働局と協力し、受講生と県内ICT企業等が相互に理解を深める機会を提供することにより、就労へのサポートも行っています。



福島県警察との連携

近年、深刻化するサイバー空間での脅威へ対処していくため、会津大学と福島県警察は、2015年11月に「サイバーセキュリティに関する覚書」を締結し、サイバーセキュリティに係る人材育成等に協力していくことになりました。

同年から、会津大学は民間企業との共催で「サイバー攻撃対策演習講座」を開講し、現在まで継続して実施しています。

また、福島県警察の取組としては、本学の中村章人教授が「福島県警察サイバー犯罪対策アドバイザー」として2017年度より委嘱を受け活動しているほか、2019年10月には、県警主催の「サイバーセキュリティリーダー養成講座」が先端ICTラボ(LICTiA)で開催され、本学教員も講師として参加しながら、サイバー犯罪の情勢やその手口、それを未然に防ぐためのセキュリティ対策、リスクマネジメント等について講義が行われました。

サイバー犯罪は、悪質巧妙化し被害件数は増加し続けていることから、以上のように大学と警察が連携した対策に取り組んでいます。





4. 研究技術の活用

新技術説明会

会津大学が有する研究成果や特許等について、企業関係者等を対象とした研究技術説明会を開催しています。2025年度は、科学技術振興機構(JST)と共同で「新技術説明会」を開催し、多くの来場者にお越しいただきました。

説明会では、大学教員自らが実用化を想定した説明を行い、企業ニーズとのマッチングを目指しています。また、説明会を通して、参加企業の要望に応じた技術相談を行うことで、産学官連携を推進しています。

開催日：2026年1月20日(火)
会場：JST東京本部別館1Fホール
(東京・市ヶ谷)



1 関節の幾何学的特徴とAIを活用したハンドジェスチャ認識システム

教授 慎重弼

本技術は、従来、効果的な時空間特徴の不足やノイズの多い関節データにより、精度面で課題を抱えていたジェスチャ認識について、2次元座標軸上の距離および角度に基づく新しい特徴抽出手法を導入し、ハンドジェスチャ認識の精度向上を可能にします。



2 広域を対象とした無線通信×AIによる野生動物検出と警報

教授 齋藤 寛

本技術は、センシングを行うセンシング装置、撮影・AI処理・通信を行うメイン装置、および音や光にて近くにいる人に危険を知らせる発報装置を無線通信技術を用いて連携させることで、従来のトレイルカメラ等では検出できなかったより広範囲な野生動物の検出を可能にします。



3 おもちゃのブロックを使ってできる秘密計算

上級准教授 渡辺 曜大

本技術は、おもちゃのブロックを合体させたようなものの対称性を利用して、任意の処理を実行可能な従来技術であるトランプのカード組、キャンディディスペンサー、ボールとバッグなどを用いる手法と比較して、より単純な操作で安全に秘密計算の実行を可能にします。



4 足裏圧力センサだけで、体の姿勢を検知する技術

上級准教授 荊 雷

本技術は、足裏の荷重分布から全身の姿勢を高精度に推定することで、従来のカメラや全身装着型センサが抱えていた高コスト、環境制約、プライバシー問題などの課題を回避しつつ、低コストで環境に依存しない足裏圧力センサのみによる姿勢推定を可能にします。



5 締切を守りつつ精度を引き上げる時間適応型AI推論技術

上級准教授 富岡 洋一

本技術は、ロボットや自動運転等のミッションクリティカルAIシステムにおいて、従来は最悪条件に合わせてモデルを小さくせざるを得ず犠牲にしていた精度について、動的に変動する処理の締切を守りながら高い推論精度の実現を可能にします。



共同研究等

本学との共同研究等をご検討の際は、コンピュータ理工学を専門とする教員(約110名)の中から、研究テーマに最適な教員を紹介いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

■共同研究

共同研究とは、企業等の外部機関の研究者・技術者と本学の教員が共通のテーマについて研究を行う制度です。目的やご希望に応じて、以下の3つの形態から選択することができます。

- ① 研究に要する経費を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ② 共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ③ 研究に要する経費と共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究

■受託研究

受託研究とは、企業等からの受託により本学の教員が研究を行う制度です。研究に必要な経費は、委託者のご負担となります。

■奨学寄附金

奨学寄附金とは、教育及び学術研究の奨励に使用されることを目的に、企業等から寄附金を受け入れる制度です。

共同研究等の開始までのフロー



共同研究等の
希望について
UBICに相談



制度及び教員の紹介

打合せ
(研究テーマ、期間、金額などを決定)

教員と研究内容について打合せ

UBICと契約内容について打合せ

申込書の提出

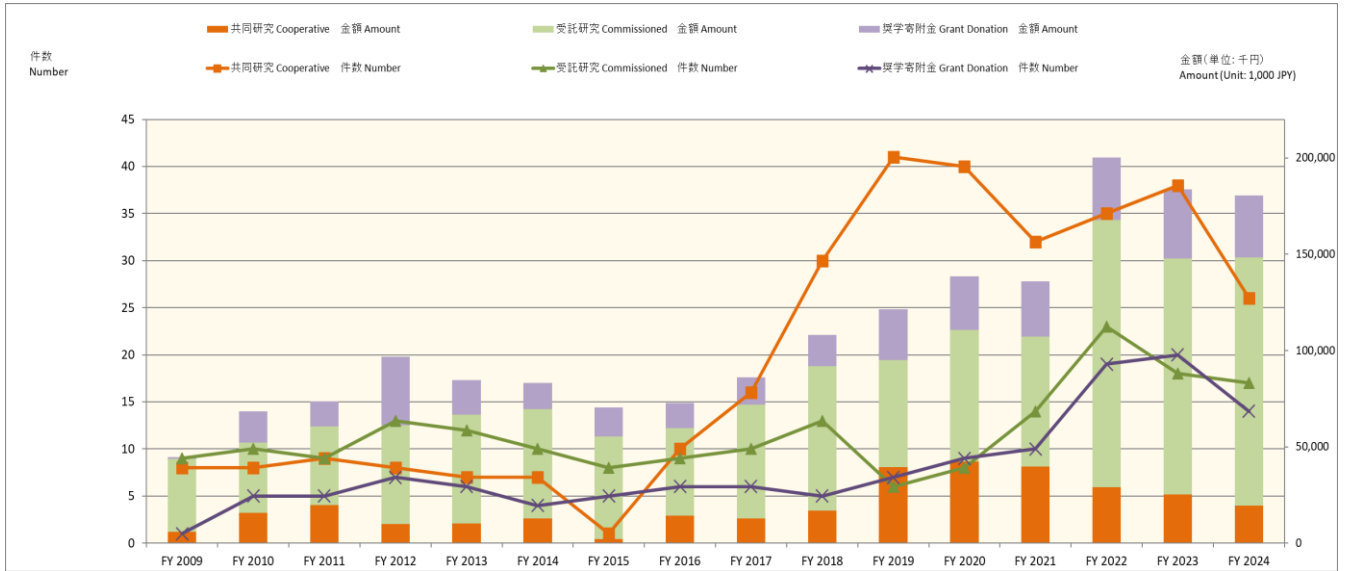
契約締結

費用の納付

研究スタート

共同研究等の実績

2025年3月31日現在



シーズ集の発行

UBICでは毎年、大学の研究成果や技術をまとめたシーズ集を発行しています。是非ご活用ください。

※ シーズ集は、UBICホームページでもご覧いただけます。

<https://www.ubic-u-aizu.jp/kenkyu.html>



また、UBICでは企業の皆様からの技術相談や産学連携のマッチング相談を随時受け付けています。

会津大学の技術に興味を持たれた方は、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】 産学イノベーションセンター(UBIC)

☎ : 0242-37-2776(代表)

HP : <https://www.ubic-u-aizu.jp>

✉ : ubic-adm@ubic-u-aizu.jp



出願番号	発明の名称	登録番号等
1	特願2010-262195 ジェスチャー認識装置及びジェスチャー認識方法	特許第5733656号
2	特願2010-266668 スローワーク生成装置、スローワーク生成プログラム、文字生成装置、文字生成方法および文字生成プログラム	特許第711707号
3	特願2012-204403 センサネットワークシステム及びセンサネットワークシステムにおけるデータ取得方法	特許第5943476号
4	特願2013-188978 水田除草ロボット（※玉川エンジニアリング社との共同出願）	特許第6260951号
5	特願2013-262523 誤り耐性ルータ、これを使用するC、及び誤り耐性ルータの制御方法	特許第6284177号
6	特願2014-041620 移動軌跡解析装置及び方法（※日本電信電話社との共同出願）	特許第6044937号
7	特願2014-044834 深部温度計（※奈良先端科学技術大学院大学との共同出願）	特許第6395176号
8	特願2014-051566 電子測角装置及び測角プログラム	特許第639266号
9	特願2014-087842 複写像や型紙画像を抽出、及びこれを実行するプログラム	特許第6381109号
10	特願2014-139370 再生可能エネルギーを利用した情報処理システム（※株式会社シャバンとの共同出願）	特許第6425166号
11	特願2015-196698 それぞれコントロールユニットを有する非ブロック光スイッチを用いる光ネットワーク・オン・チップシステムのセットアップ方法	特許第6747660号
12	特願2015-202760 災害時情報管理システム、これに用いるサーバ装置及び端末装置	特許第6811947号
13	特願2015-217618 構え込み型除細動器の構え込み部位における体内電気伝導様式をシミュレーションするコンピュータ装置及びシミュレーション方法	特許第6618771号
14	特願2016-063390 スピーカから発生される音の定位化方法、及びこれに用いる音定位化装置	特許第6770699号
15	特願2016-098424 被験者の識別、反応機能を計測するための識別、反応計測装置、及び被験者の識別、反応機能の計測を実行制御するプログラム	特許第6793932号
16	特願2016-100732 ネットワークオンチップの欠陥耐性ルータ	特許第6846027号
17	特願2016-126337 呼吸検出装置、呼吸検出方法及び呼吸検出プログラム	特許第6709116号
18	特願2016-146033 ロボットを操作する装置、その装置において実行される方法およびプログラム	特許第6910628号
19	特願2016-205061 手書き文字認識装置、検出装置および処理装置	特許第6821174号
20	特願2016-227829 浴槽中心電モータリングシステム、これを用いる入浴中心電モータ方法、最適な入浴条件設定方法及び、入浴中心電モータ方法を実行する制御プログラム	特許第6785500号
21	特願2017-043073 手書き文字によるユーザ認証システム	特許第7033288号
22	特願2017-117686 データ処理装置、及びこれにおけるデータ処理方法	特許第7014393号
23	特願2017-120278 携帯端末を用いた察知エージェントシステム、察知エージェントシステムにおける機械学習方法、及びこれを実施するためのプログラム	特許第6746139号
24	特願2017-124730 認証装置、認証方法及びコンピュータプログラム（※SIMPLEX QUANTUM社との共同出願）	特許第6765657号
25	特願2017-156805 秘密データの隠蔽方法、これを実施するプログラム、及び秘密データ通信システム	特許第7143973号
26	特願2017-162242 屋内位置特定システム、携帯端末及びコンピュータプログラム	特許第6971467号
27	特願2017-192767 音声認識装置および音声認識プログラム	特許第6944329号
28	特願2017-218953 3DネットワークオンチップのためのTSV誤り耐性ルータ装置（※株式会社津ラボとの共同出願）	特許第7277682号
29	特願2017-235198 動画距離算出装置および動画距離算出プログラム	特許第6982865号
30	特願2018-018854 認証システム、認証方法及びコンピュータプログラム	特許第6979204号
31	特願2018-230323 ニューラルネットワークの学習方法、コンピュータプログラム及びコンピュータ装置	特許第7230324号
32	特願2018-240066 階層パディングボリューム生成方法、コンピュータプログラム及びコンピュータ装置	特許第7181154号
33	特願2019-041980 動画距離算出装置および動画距離算出プログラム	特許第7157449号
34	特願2019-059707 野生動物検出装置	特許第7351459号
35	特願2019-060649 モーションセンサを搭載したセンサ装置及び位置推定方法	特許第7014439号
36	特願2019-124541 3次元ネットワークオンチップによるスパイクニューラルネットワーク	特許第7217682号
37	特願2019-125734 ラベリングプログラム、ラベリング装置及びラベリング方法（※アルパイン社との共同出願）	特許第7333496号
38	特願2019-185284 大腸内視鏡検査補助装置、大腸内視鏡検査補助方法及び大腸内視鏡検査補助プログラム（※福島県立医科大学との共同出願）	特許第7315809号
39	特願2019-217358 補正距離算出装置、補正距離算出プログラムおよび補正距離算出方法	特許第7315216号
40	特願2020-022553 検査プログラム、検査装置及び検査方法（※アサヒ電子機との共同出願）	特許第7451857号
41	特願2020-028085 分類プログラム、分類装置及び分類方法（※福島県立医科大学との共同出願）	特許第7421703号
42	特願2020-033678 仮発電所制御システム	特許第6804072号
43	特願2020-042133 カテゴリ識別プログラム、カテゴリ識別装置及びカテゴリ識別方法	特許第7460949号
44	特願2020-042803 対象物識別システム、対象物識別プログラム、情報処理装置、対象物識別方法及び識別装置（※株式会社イグニスセンターとの共同出願）	特許第7206451号
45	特願2020-043230 データ処理装置及びデータ処理方法	特許第7467786号
46	特願2020-045595 野生動物警報システム及び野生動物警報方法	特許第7364148号
47	特願2020-054493 プログラム、自律移動装置の管理装置、管理方法及び管理システム（※TIS社との共同出願）	特許第7466144号
48	特願2020-071633 学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アサヒ電子機との共同出願）	特許第7427856号
49	特願2020-094220 複数のTSVを含むTSVグループが層間を接続するオンチップの3次元回路	特許第7488989号
50	特願2020-123114 指示値読取プログラム、指示値読取装置及び指示値読取方法（※信越半導体社との共同出願）	特許第7589911号
51	特願2020-137240 心房細動検知プログラム、心房細動検知装置、心房細動検知方法及び心房細動検知システム（※SIMPLEX QUANTUM社との共同出願）	特許第7022957号
52	特願2021-018996 学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルパイン社との共同出願）	特許第7672034号
53	特願2021-142015 学習データ生成プログラム、学習データ生成装置及び学習データ生成方法（※アルパイン社との共同出願）	特許第7541635号
54	特願2021-142016 学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルパイン社との共同出願）	特許第7553754号
55	特願2021-142017 学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルパイン社との共同出願）	特許第7510033号
56	特願2021-171553 複数のリンク内の複数誤りを検出する複数誤り検出回路及び複数誤り検出回路を有する誤り訂正回路	特許第7427856号
57	特願2021-185960 複数の移動体のそれぞれの移動経路の作成方法、システムおよびプログラム（※株式会社日本計算センターとの共同出願）	特許第7458593号
58	特願2021-189720 情報読取プログラム、情報処理装置及び情報読取方法（※信越半導体社との共同出願）	特許第7613647号
59	特願2021-194733 AIプロセス	特許第7699791号
60	特願2021-024842 動作特定プログラム、情報処理装置及び動作特定方法	特許第7619546号
61	特願2021-042444 モデル推論プログラム、情報処理装置及びモデル推論方法	特許第7761880号
62	特願2021-047837 周期的近傍パターン検出装置、周期的近傍パターン検出プログラム及び周期的近傍パターン検出方法	特許第7707604号
63	特願2021-092181 フロントメータ読取プログラム、フロントメータ読取装置及びフロントメータ読取方法（※信越半導体社との共同出願）	特許第7670261号
64	特願2021-121259 情報処理システム、情報処理方法、振分装置、通知装置、振分プログラム及び通知プログラム	特許第7704351号
65	特願2021-121263 プログラミング学習支援プログラム、情報処理装置及びプログラミング学習支援方法	
66	特願2021-213059 学習モデル生成プログラム、学習モデル生成装置及び学習モデル生成方法	特許第7754399号
67	特願2021-214286 時系列分類装置、時系列分類プログラム及び時系列分類方法	特許第7804319号
68	特願2022-016161 入浴者見守りシステム（※情報システムエンジニアリングとの共同出願）	特許第7126230号
69	特願2022-033334 学習モデル重複プログラム、学習モデル重複装置、学習モデル重複方法及びニューラルネットワーク回路装置	
70	特願2022-050609 テンソルメモリ及びテンソルプロセッサ（※株式会社システムズとの共同出願）	
71	特願2022-057019 学習モデル生成プログラム、学習モデル生成装置及び学習モデル生成方法（福島県立医科大学との共同出願）	
72	特願2022-125488 心拍分岐装置及び入浴者見守りシステム（※情報システムエンジニアリングとの共同出願）	特許第7162232号
73	特願2022-178106 画像認識システム（国立研究開発法人情報通信研究機構との共同出願）	
74	特願2022-182875 関節角度推定プログラム、情報処理装置、関節角度推定方法及び関節角度推定システム	
75	特願2022-187467 ユーザ認証プログラム、情報処理装置及びユーザ認証方法	
76	特願2022-196416 ホモジニアスコンピューティングシステム及びホモジニアスコンピューティングデバイスのマイクレーションフローの生成プログラム	
77	特願2023-010098 位置検知システム及びセンサ取り付け方法	
78	特願2023-046730 対象追跡装置、対象追跡プログラム及び対象追跡方法	
79	特願2023-048058 音声信号処理プログラム及び音声信号処理装置	
80	特願2023-054792 3次元モデルデータ編集装置及びコンピュータプログラム	
81	特願2023-090161 学習進捗表示システム及び学習進捗表示プログラム	
82	特願2023-107217 プログラム探索システム及びプログラム探索方法	
83	特願2023-110988 学習プログラム、推定プログラム、情報処理装置、学習方法及び推定方法（※川崎重工業(株)との共同出願）	
84	特願2023-132333 位置推定システム及び位置推定方法	
85	特願2023-146851 目標点に向かって被験者を誘導するためのシステム、方法、およびプログラム（※株式会社日本計算センターとの共同出願）	特許第7538492号
86	特願2023-181283 ニューラルネットワークの近似検出回路手法及び回路	
87	特願2023-181739 圧力センサ校正方法及び圧力センサ校正システム	
88	特願2024-022563 ニューラルネットワークの耐故障アンサンブル技術	
89	特願2024-024176 筆跡ファンタイムパスワード認証技術（※ジスコソフト(株)との共同出願）	特許第7764667号
90	特願2024-047372 ニューラルネットワークプロセス	
91	特願2024-054010 快適性評価装置及び入浴者見守りシステム（※情報システムエンジニアリングとの共同出願）	
92	特願2024-056380 塗装ロボットシステム	
93	特願2024-057141 学習プログラム、情報処理装置及び学習方法	
94	特願2024-057226 秘密計算用装置	
95	特願2024-086522 検体画像の画像選択装置及びそのプログラム	
96	特願2024-137878 学習プログラム、推論プログラム、情報処理装置、学習方法及び推論方法（※福島県立医科大学との共同出願）	
97	特願2024-217735 学習プログラム、情報処理装置及び学習方法	
98	特願2025-00308 映像処理装置、映像処理端末、映像処理システム、映像処理方法、及び映像処理プログラム（※日本電信電話(株)との共同出願）	(未公開)
99	特願2025-020362 無線通信技術を用いた野生動物の検出	(未公開)
100	特願2025-055738 入浴時の転倒リスクの予測（※情報システムエンジニアリングとの共同出願）	(未公開)
101	特願2025-070908 推定モデル及び推定変換システム	(未公開)
102	特願2025-136266 ニューラルネットワークモデル装置及びニューラルネットワークモデルプログラム	(未公開)
103	特願2025-518167 判定支援装置、判定支援方法及びコンピュータプログラム（※国立熊本大学との共同出願）	(未公開)
104	特願2026-22265 電力取引システム及び電力取引方法	(未公開)



5. 教育活動・起業サポート



会津IT日新館

～ベンチャー人材育成プログラム～

会津IT日新館は、大学が地域のベンチャーや企業、自治体と連携し、地域や企業のニーズに対応したテーマを持つベンチャー体験工房群を構成し、挑戦する精神と技術力を持つ人材育成に取り組んでいます。

ベンチャー基本コース

ベンチャー基本コースは、より実践的なビジネス知識が習得できるように、「知識編」と「講義」で構成された授業です。「知識編」では、ビジネスに関連した知識を学び、ベンチャー精神育成に必要な知識を習得することができます。「講義」では、各分野で活躍している多彩な外部講師によるタイムリーな話題に触れることができます。



ベンチャー体験工房

ベンチャー体験工房は、より少人数で実践的な教育手法として注目されているPBL(プロジェクト形式の課題解決型学習)を取り入れた授業です。

大学や地域、企業の課題を見つけ、チームで一つの開発テーマに取り組み、実践します。

また、企業の技術者から直接指導を受け、ベンチャー創業活動や産業界での実務に近いソフトウェア開発などの疑似体験をすることにより、起業家精神の醸成を行っています。



起業家教育プログラム

会津大学の学生、教職員を対象に、起業に興味を持っていただけるよう不定期にワークショップを開催しています。新しいことを始めるために必要なビジョンを共感できるものとするワークショップや、様々なメソッドを使ったワークショップ、そして起業家によるパネルディスカッションなどを企画しております。

今後も学生、教職員にとって有益な学びの機会となるセミナーを企画していきます。

起業支援

本学の研究成果や資源等を活用して起業したベンチャーに対して、「会津大学発ベンチャー」の称号を授与しており、称号を受けた事業者に対しては、創業支援・起業支援に関する様々なサポートを行っています。<支援一例>

- 本学対象施設の使用料の減免
 - 本学住所の法人登記の所在地としての利用※
- ※ただし、本学対象施設を利用することが条件

No.	企業名	事業内容	認定日
1	株式会社社会津ラボ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか	2007/02/28
2	株式会社心電技術研究所	医療福祉健康関連の情報処理システムの開発販売、情報管理、及び情報提供サービス業務ほか	2007/02/28
3	SORA有限会社	コミュニケーション用ソフトウェアシステムの開発及び販売ほか	2007/02/28
4	株式会社Eyes,JAPAN	コンピュータの操作方法の指導、コンピュータシステムの企画調査及びコンサルティングほか	2007/02/28
5	株式会社シンク	コンピュータに関わる各種ビジネスシステムの企画、コンサルタントほか	2007/02/28
6	株式会社ニセンエックス	コンピュータのシステム開発及び販売ほか	2007/02/28
7	天系瓜ネット合同会社	プロバイダサービス、ホームページ作成、各種プログラム開発、ネットワーク管理業務	2007/07/25
8	株式会社デザインウム	映像・情報・広告宣伝媒体等の企画、編集、製造、販売	2007/07/25
9	株式会社GClue	コンピュータソフトウェアの分析、設計、開発、販売、コンピュータによる情報提供サービスほか	2007/07/25
10	有限会社フロンティアオンライン	コンピュータソフトウェアの開発、操作に関する指導、ソフトウェア及びハードウェアの販売	2007/07/25
11	株式会社T&Iコミュニケーションズ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか	2012/08/01
12	株式会社あくしゅ	クラウド基盤構築、システム開発ほか	2012/10/11
13	株式会社PLISE	システム開発	2014/03/18
14	株式会社スタンダード(ノグチキカク)	ホームページ製作・運用保守、WEBアプリ、モバイルアプリの開発・運用保守ほか	2015/03/03
15	株式会社ウェブレッジ	Webサービス改善コンサルティング事業、Web & モバイル・ソフトウェアテスト事業ほか	2015/05/19
16	株式会社FaBo	プロトタイピングツール「FaBo」の開発・販売ほか	2016/06/30
17	株式会社dott	Webシステム・アプリ・サイトの企画開発運営ほか	2016/06/30
18	株式会社ミンナノチカラ	社会起業家育成のための教育研修・支援、就職・再就職・転職のための教育研修・支援ほか	2017/09/26
19	TAKLAM	コンサート・ライブ・イベントの運営業務、デジタルコンテンツの制作ほか	2018/05/24
20	株式会社Anost VR	VRコンテンツの開発・展示	2018/12/12
21	株式会社チームミズキ	ブロックチェーン開発及びコンサルティング、デジタルコンテンツの企画・立案・制作ほか	2019/03/27
22	株式会社Novera	スマートミラー事業、スマートフォンアプリ事業	2019/08/01
23	株式会社社会津コンピュータサイエンス研究所	コンピュータに係る新技術の研究開発	2019/08/01
24	AizuBT株式会社	コンピュータのソフトウェア及びハードウェアの企画ほか	2020/09/29
25	株式会社コンピュータ	情報システムと機械に関わる製品とサービスの提供	2020/09/29
26	mooi(モーイ)	インターネット通販、ゲストハウス運営、WEBページ制作	2020/11/12
27	株式会社FromFrom	コンピュータのソフトウェア及びハードウェアの企画、研究、開発、コンサルティング業務ほか	2022/02/22
28	合同会社ムーン・アンド・ブラネッツ	宇宙開発に関する広報・イベントの企画運営、宇宙開発に関する調査・研究の受託・実施ほか	2022/02/22
29	株式会社ブランチズム	インターネットを利用した各種サービス等の企画、開発、制作、配信、管理、運営及び販売ほか	2022/02/22
30	インクスジャパン合同会社	AI・IoT・ICTなどに関連するシステム・ソリューションの企画・開発ほか	2022/6/15
31	株式会社inf.(インフ)	学習教室の経営、研修・セミナー、講演会、イベント等の企画、実施、運営及びコンサルティングほか	2023/3/29
32	株式会社StoD(エストウーディー)	企業の業務効率化に関連するITシステムの開発・運用・販売・保守・コンサルティングほか	2024/6/27
33	株式会社Pignet	SNS、インターネット等を利用した広告マーケティング、マーケティングシステムの企画、開発ほか	2025/1/23
34	株式会社デュナミス	コンピューターのソフトウェア及びハードウェアの企画、研究、開発、コンサルティング業務ほか	2025/1/23
35	甘党AI株式会社	AI関連のプロダクトの開発、企業向けのAI伴走コンサルティングほか	2025/6/30
36	e-Family合同会社	インターネットにおける各種コンテンツの企画・制作・販売、デザイン及び制作業務ほか	2025/6/30
37	Aizu-BASE株式会社	「Aizu-BASE」の運営、人材紹介、企業・地域ブランニング、研修、採用コンサルほか	2025/11/11
38	株式会社Aisometry	コンピュータシステムや各種アプリケーションの企画、開発、販売及び保守ほか	2026/3/3
39	エニアグラムフロンティア研究所	性格診断メソッド“エニアグラム”にもとづく研究の実施、セミナーの開催、カウンセリングほか	2026/3/3
40	特定非営利活動法人NSK_AIZU	耕作放棄地の利活用やまちづくりの推進を図る活動、情報化社会の発展に資する教育の推進ほか	2026/3/3

6. UBICは「ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点」へ生まれ変わりました。 ～2024年10月にリニューアルオープン～

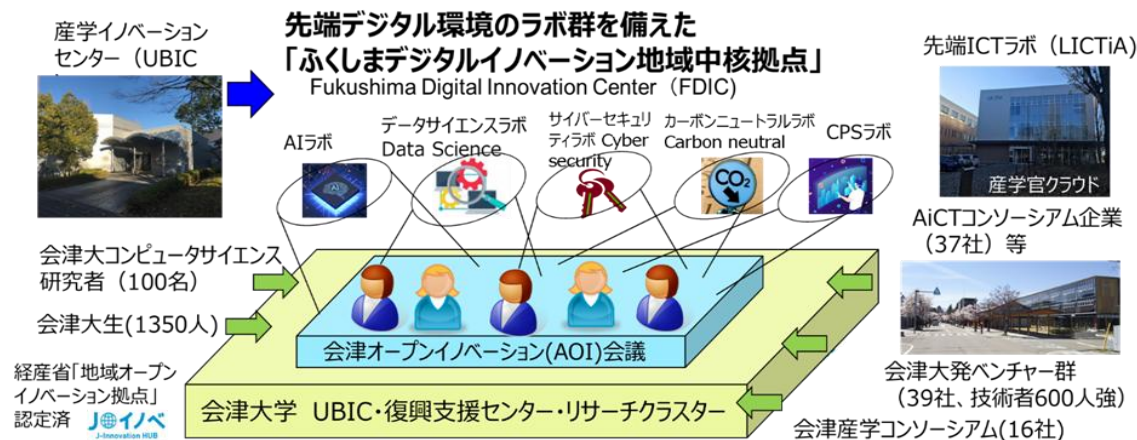
背景

UBICは、大学が有するICTの専門性とオープンイノベーションの手法を活用し、産業創出や人材育成の面で様々な取り組みを実施してきました。このたび、経済産業省の令和4年度産学連携推進事業費補助金(地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備(大学等向け))を活用し、2024年10月1日に新たに「ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点」として生まれ変わりました。ソフト面で会津オープンイノベーション会議(AOI会議)という強力なエコシステムツールに加え、ハード面での施設改修を行い、今後のデジタルイノベーション(ICT+OI)の中核拠点として、地域発の新産業ならびにスタートアップ創出を加速することを目的に、最先端ICTを活用したオープンイノベーション環境を再整備しました。

施設概要

UBIC内のインキュベーション施設とオープンスペースを中心に改修を実施し、ICT分野の中でも重点5領域「AI(人工知能)・DS(データサイエンス)・CS(サイバーセキュリティ)・CN(カーボンニュートラル)・CPS(サイバーフィジカルシステム)」に関する専門ラボ(研究環境)を新設しました。この専門ラボを利用したAOI会議、企業との共同研究を推進するとともに、併設する企業向けプロジェクトルームを使って本学シーズの社会実装化を図ります。

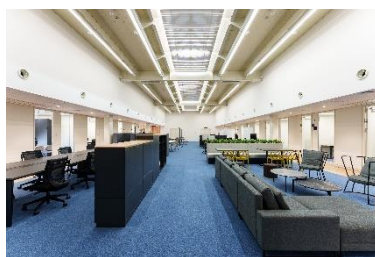
また教職員・企業・学生を問わず利用可能なスペースを整備し、地域の課題解決や相互連携に向けた交流を図り、さらに学生向けのプロジェクト体験スペースを確保することにより、起業マインドの醸成、先輩ベンチャーからの助言など、専門ラボや交流スペースと合わせて、スタートアップ創出のための環境を提供します。今回の施設整備により、地域中核拠点としてデジタルイノベーションの広範な普及と地域活性化に貢献してまいります。



【主な施設写真】



エントランス・交流スペース



インキュベーションスペース



プロジェクトルーム(研究開発室)



3Dシアター



研究ラボ



ミーティングスペース

5つの研究ラボ

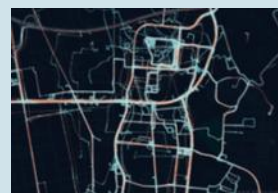
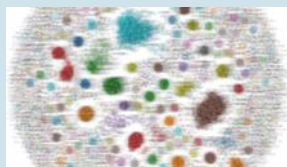
AIラボ

- ・多数GPU搭載計算サーバによる大量データAIモデル
- ・電力測定装置やFPGAによるAIチップ処理性能実証
- ・各種AI+IoT処理の実証環境の整備



データサイエンスラボ

- ・計算サーバによる大量データ処理環境
- ・解析結果の可視化とデモンストレーションデータ
インタフェース／解析ツール整備



サイバーセキュリティラボ

- ・サイバーレンジ演習環境整備
- ・演習用最新シナリオ作成と検証
- ・ロボットセキュリティ実証環境



カーボンニュートラルラボ

- ・CO2循環や再エネ関連モニタ
- ・各種エネマネシステム対応
- ・会津若松市脱炭素先行地域連携



サイバーフィジカルシステムラボ

- ・運動解析ルーム環境整備
- ・ロボット関連CPS実証実験対応
- ・遠隔地との仮想環境構築実証



重点取組

オープンイノベーションの ハブ機能の強化

- ・多様なステークホルダーとの交流
活性化のためのスペース整備
- ・民間DX、スマートシティ・デジタル
田園都市での行政連携
- ・専門人材の育成と呼び込み
- ・福島国際研究教育機構との連携
- ・デジタルイノベーションのハブ機能



高付加価値な研究成果の 創出と産業移転

- ・今後の民間需要が見込める重点
ICT分野の5研究ラボの整備
- ・学内研究クラスターとの連携強化
- ・産業移転を目指した研究成果の
高付加価値化
- ・民間投資による大学の知のサイク
ルと産学連携エコシステムの形成



スタートアップの創出と 成長支援

- ・創業関連教育の再整備
(SGU・スタートアップ支援事業)
- ・学生プロジェクト体験スペース
- ・企業との先端共同研究による
シーズ実装・企業内起業支援
- ・既存スタートアップとのプロジェクト
協業による成長支援



産学連携専任教員

産学イノベーションセンター・復興創生支援センターでは、共同研究のコーディネートから発明・特許の管理まで、産学連携に必要なサポートを実施いたします。技術相談や事業化に関わる相談等を幅広く受け付けていますので、是非お気軽にご相談ください。



復興創生支援
センター
特任教授
石橋 史朗

本学の特色である情報通信技術の強みを活かし、多種多様な分野の方々との議論を通じて、課題解決のお手伝いができればと考えています。また大学の施設・設備や知的財産を有効活用して頂くことで、スタートアップをはじめとする新規事業や新産業の創出支援も進めて参りますので、ぜひよろしくお願い致します。



産学イノベ
ーションセンター
上級准教授
齋藤 広幸

地域の産業発展には、企業と大学が互いの強みを結び合わせる協働が欠かせません。私たちはイントレプレナーシップ教育を通じて、実践的な課題解決力と創造性を備えた人材を育成しています。企業の皆さまと共に、地域の価値創造に挑む次世代の担い手を育て、持続的なイノベーションの循環を生み出していきたいと考えています。



産学イノベ
ーションセンター
准教授
島 圭佑

産学連携は、既成概念を壊す強力なイノベーションを生み出し、地域の様々な課題を解決できるものと考えております。また、様々なデータを解析し、有益な情報を見つけ出す研究も行っております。AI・データサイエンスのことでお困りの際は是非ご相談いただければと思いますので、よろしくお願いします。



産学イノベ
ーションセンター
准教授
五十島 淑

大学の技術と企業の連携による、情報通信技術の更なる発展、また、実用化に向けた活動に取り組んでいきたいと考えております。また、地元である会津の課題解決に向け活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



復興創生支援
センター
教授
石坂 博明

特許庁から出向しています。長年の特許審査経験及び産業財産行政の経験を生かして、特に産業財産の観点から皆様のお役に立ちたいと思います。また、本誌掲載の「会津大学誰もが輝けるITキャリアアップ塾」のプロジェクトマネージャーとして産学連携に取り組んでいます。



復興創生支援
センター
准教授
鈴木 崇正

産学連携に活用されるデータセンター管理者を担当しています。共同研究から実運用までサポートできるISMS認証済みの環境を準備し対応させていただきます。会津大学の知識と環境が地域貢献に繋がるよう努めて参りますので、よろしくお願いたします。

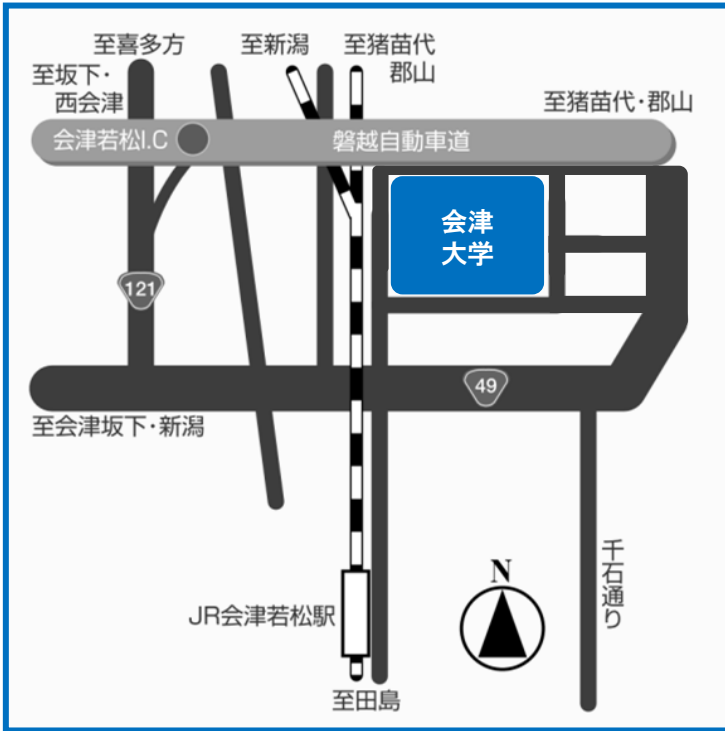


復興創生支援
センター
特任教授
加藤 拓也

産学連携ロボット研究開発支援事業、復興知事業、F-REIとのプロジェクト等を担当しております。福島ロボットテストフィールド会津大学研究センター(南相馬市)も活用し、浜通りの復興創生支援、人材育成などを、産学で連携しながら皆様と推進して参りたいと思います。

UBIC・RACSインフォメーション

◆ アクセス



会津大学産学イノベーションセンター
(U B I C)
〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電話 0242-37-2776

FAX 0242-37-2778

Eメール ubic@u-aizu.ac.jp

ホームページ <https://www.ubic-u-aizu.jp/>

会津大学産学イノベーションセンター・復興創生支援センターの
Facebookページもございます。

UBIC Facebook



会津大学復興創生支援センター
(R A C S)
[先端ICTラボ(LICTiA)内]
〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電話 : 0242-37-2533

FAX : 0242-37-2687

Eメール : revitalization-adm@u-aizu.ac.jp

ホームページ : <http://www.lictia.jp/>

施設・サービス : <http://www.lictia.jp/service.html>



<キャンパスマップ>



【UBIC】



【LICTiA】

